

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 本市の水道事業・下水道事業における老朽管対策について 【質問趣旨】 1月28日、埼玉県八潮市の県道交差点で起きた大規模な道路陥没が発生し、トラックが転落しました。2月10日現在、運転手は依然として安否不明となっています。陥没の原因は、直径4.75メートルの鉄筋コンクリート製の下水道管の破損とみられています。 同様に老朽化した下水道管が原因とみられる事故は起きており、2022年6月には埼玉県川島町で、同年7月には仙台市太白区で、いずれも下水道管の腐食が原因とみられる陥没事故が発生しています。 国土交通省の調査によると2022年末現在で全国の下水道管の総延長は約49万キロで	(1) 埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受けての本市の対応について	① 八潮市での道路陥没事故を受けて、国交省の要請による本市の下水道管の緊急点検を行ったのか伺います。 ② 本市における下水道管の点検・修繕はどのような計画で行われているのか伺います。 ③ 八潮市の陥没事故では、管渠付近の地質(砂とシルトで構成)と緩い地盤も影響したといわれています。本市では下水管敷設箇所の地盤はどのようなになっているのか伺います。 ④ 本市においては八潮市の陥没事故の原因となったような直径の大きな下水道管は存在しないと聞いていますが、直径の小さな下水道管の破損による事故も現実には起きており、小規模な陥没事故は本市でも起こりうると思いますが見解を伺います。 ⑤ 大阪府堺市で2月12日、水道管の破損による断水や通行止めが相次いで発生しました。水道管の老朽化が原因とみられています。本市においても同様の事故は起きているのか伺います。 ⑥ 水道事業においては、老朽管の更新を総延長のうち年間1%とし100年かけて更新することを目標にしていると聞いていますが、令和7年度予算では0.72%にとどまり、このままの更新率では100年での更新はできません。更新率が1%に届かない原因について伺います。

(1 ページ)

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
うち法定耐用年数の50年を経過したものが全体の約7%にあたる約3万キロですが、10年後には約19%約9万キロに、20年後には約40%約20万キロに増加する見込みであり、老朽管の点検・修繕・交換を行わなければならない状況となっています。 本市の下水道事業は1970年4月に菱野団地、水野団地で供用を開始したのがはじまりであり、初期に敷設された下水道管はすでに法定耐用年数の50年を過ぎています。八潮市での道路陥没事故を受けて、本市でも市民の皆さんから管路の状況について心配の声が多く寄せられています。そこで、本市における老朽化した管路の修繕、更新の状況について伺います。		⑦ 水道管、下水道管とも今後ますます維持管理・補修に係る費用が増大することが予想されます。質の高いサービスを提供し続けるためには、水道・下水道事業に携わる職員を増員し、経験や技術の継承をはかる必要があると考えますが見解を伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
2. 自己水源を活かした地域分散型水道システムへの転換を 【質問趣旨】 本市の水道事業は 1933 年 12 月に完成した馬ヶ城浄水場から始まり、当初は自己水源のみで対応していましたが、1962 年より愛知県営水道(県水)からの供給を受け、現在では総配水量の約 25%が自己水、約 75%が県水となっています。 本市は 2023 年 7 月に策定された『瀬戸市新水道ビジョン』の中で自己水源について、「今後保有していくか県水へ転換していくか整理」するとしています。たしかに、蛇ヶ洞・馬ヶ城の両浄水場では耐震性の問題があり、馬ヶ城では水質の悪化の問題もあります。 しかし、南海トラフ巨大地	(1) 浄水場における水質悪化について	① 馬ヶ城浄水場については近年、水質の悪化により県水からの補給水によるバックアップが増加傾向にあるとしています。2022、2023 年度の馬ヶ城におけるバックアップ率はどのようなか伺います。 ② 馬ヶ城浄水場の水質悪化はどのような理由によるものと考えているか伺います。 ③ 水質悪化にはゲリラ豪雨など近年の気候変動による影響もあるのか伺います。 ④ 浄水場周辺で行われている開発行為が水質に影響することはあるのか伺います。 ⑤ 2009 年 9 月定例会および 12 月定例会での一般質問では、当時馬ヶ城浄水場の取水口がある山路町で計画されていた産業廃棄物処分場について、「決して好ましい施設計画であるとは言えない」「水道水源に近く、原水への影響も懸念されることから水道水の安全性を考慮し、規制を含めた検討も必要である」旨の答弁がありました。この処分場計画はいったんストップしましたが、2023 年 5 月に産廃紛争予防条例に基づく申請が再び出され、今年 1 月から事業計画書の縦覧がはじまりました。2009 年の答弁を踏まえ、現時点で山路町での処分場計画についてどのように考えているか伺います。 ⑥ 蛇ヶ洞浄水場については色度の悪化が原因の県水からのバックアップは行われていないのか伺います。 ⑦ 色度の改善のためにダムの浚渫を行う計画があるか伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS 明朝体、12 ポイントで記載する。

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
震発生が危惧される状況の中で、県水のみに頼るのではなく代替水源を保有していることは、周辺他市町にない本市の強みだと考えます。そこで、将来にわたり自己水源を維持していくべきことを求めて質問します。	(2) 自己水源の維持を	① 2018年6月の大阪北部地震におけるライフラインの被害調査を行った土木学会地震工学委員会の報告では、広域水道への依存度の高さや自己水源の不足が指摘され、バイパスの確保と浄水場やポンプ場の耐震化による分散的な貯水機能の向上が提案されています。本市が自己水源を保有していることは他市町にない強みだと考えますが見解を伺います。 ② 2019年10月に施行された改正水道法では広域化の推進を謳っており、広域化の流れにしたがって自己水源を廃止し県水に切り替える自治体が増えています。一方で、奈良県葛城市のように広域化に参加せず、自己水源を残す選択をした自治体もあります。南海トラフ巨大地震の危険性が高まる中で、災害対策としても有用な地域分散型水道を維持していくべきであり、本市も自己水源を残していくべきだと考えますが見解を伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
3. 「水は人権」の観点で水道・下水道事業を進めるべき 【質問趣旨】 未曾有の物価高騰が続く中、市民の生活状況は依然として厳しい状況です。とくにこの数か月、米とガソリン代の値上がりが顕著であり、総務省が発表した2024年のエンゲル係数は28.3%と、43年ぶりの高水準です。 こうした中で、水道料金値上げに踏み切る自治体が全国的に増えてきています。本市においても、今年4月より下水道料金が約40%値上げされ、来年4月には水道料金も約40%の値上げが検討されています。しかし、公共サービスの中でも水は人間が生きていくために必要不可欠なものであり、安全・安心で安価なサービスに努めるべきである	(1) 4月に予定される下水道料金の値上げについて (2) 水道料金の値上げについて	① 昨年6月議会で、下水道料金の約40%の値上げが議決され、今年4月から下水道料金が値上げとなります。この下水道料金改定にあたり、昨年6月の都市活力委員会での質疑では、「使用者の方へしっかりと周知、広報を行う」答弁がありました。その後、現在までにどのような周知、広報が行われたのか伺います。 ② 昨年秋から米価が急上昇し、ガソリン代も値上がりするなど、昨年7月時点と比べても市民生活は厳しさを増しています。生活保護受給者や障がい者などへ下水道料金の減免を行っている自治体もありますが、本市でも同様の減免措置を行う予定はないのか伺います。 ① 水道料金の値上げについては、今月開催される予定の水道事業経営審議会での結論を経て市長に答申されるとのことですが、答申に至るまでの過程で、市民の意見がどの程度反映されているのか伺います。 ② 水道料金の値上げはすべての市民に影響を与えるものであり、公共サービスである以上は市民の声を聴き、説明会を開くなど周知徹底に努めるべきだと思いますが見解を伺います。 ③ 名古屋市上下水道局では、生活保護受給者や障がい者などへの水道料金の減免を行っています。未曾有の物価高騰が続く、給料や年金も上がらない中で、生活するために必要不可欠な水道料金的大幅値上げは市民生活に与える打撃がきわめて大きいと考えます。瀬戸市では過去に水道料金を一定期間無料にすることも行ってきました。このような低所得者層への対策を考えているのか伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
と考えます。 そこで、水は人権であり公共財であるとの観点をもって水道・下水道事業を進めていくことが必要と考え質問します。	(3) 水道・下水道事業は公営維持を	④ 値上げの理由として老朽管の維持管理・更新費用の増大等が挙げられています が、今後も給水人口の減少が予想される中で、独立採算制という水道事業のあり 方を続けていく限り、水道料金の値上げは今後も避けられないと考えますが見解 を伺います。 ① 宮城県利府町では今年4月から全国初の上下水道事業「包括的民間委託」が行わ れます(「ウォーターPPP レベル 3.5」)。これによりこれまで直営で行われてい た浄水場やポンプ場など水道・下水道事業の維持管理業務が、一括して1つの民 間事業者へ10年間委託されることとなります。昨年9月定例会の一般質問では、 現時点で「コンセッション方式」を導入する計画はないとのことでしたが、包括 的民間委託についても同様の考えか伺います。 ② 海外の事例では水道の民営化による大幅値上げや水質悪化、ノウハウの喪失等の 失敗により再公営化が行われた事例が数多く報告されています。海外の事例を教 訓に、水道・下水道事業は直営を堅持し、水道・下水道事業の担い手を育成して いく姿勢が求められていると考えますが見解を伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。